

かがくCH

カガクチャンネル

2022年度 PTAの活動

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響下での活動となります。行事の関わり方、打ち合わせ方法を工夫しながら、学校のサポーターとして陰ながら活動を応援できたらと考えています。今後ともご協力よろしくお祈いします。

2022年（予定）

- 6月 PTA系列大学見学会 ※22日に112名のPTA参加のもと終了
- 7月～ 学校花壇整備 ※PTA役員を中心に少人数で随時実施
- 9月 PTA懇談会 **2年生**
- 10月 PTA懇談会 **1年生**
- 11月 PTA講演会(お子様のメンタルケアについて)
- 12月 大学入学共通テスト応援企画

2023年（予定）

- 2月 卒業記念品贈呈



2022年度 高大連携授業

大学も高校同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていますが、高大が互いに協力しながら、「何ができるか」を考え、高校生の成長を促進する取り組みを企画・実施しています。これまで継続してきた取り組みを更に移転後に発展させるべく、内容の向上に取り組んでいます。今後ともご協力よろしくお祈いします。

2022年（予定）

- 6月 大学ガイダンス **1年生**
※17日に本校体育館にて実施
- 6月～ 系列校進学スクーリング
- 7月 高大連携探究活動① **2年生**
- 8月 高大連携授業(工学分野) **1年生**
- 12月 高大連携探究活動② **2年生**

2023年（予定）

- 3月 高大連携授業(大学での模擬講義) **1年生**



学校見学・説明会にWebから今すぐエントリー！

今年は時期で
開催地が
変わります

▶ 9/17(土) ▶ 11/12(土)

中の島キャンパスで開催

手稲前田キャンパスで開催

TEL 011-821-0173 URL <https://hs.hus.ac.jp/form/event/>

参加お申し込みはホームページから



<https://hs.hus.ac.jp>

リニューアルしました！

※アルコール消毒液を設置し、換気、ソーシャルディスタンス等に配慮した運営、実施を行います。 ※マスクの着用及び手洗い(手指消毒)をお願いいたします。9月以降予定している各説明会、相談等の入試イベントにつきましては、新型コロナウイルスの影響により変更になる場合がございます。最新情報については本校ホームページをご確認ください。

※本誌作成にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で取材・撮影を実施しております。

かがくCH vol.11/2022.8月発行

北海道科学大学高等学校

〒062-0922 北海道札幌市豊平区中の島2条6丁目2番3号
TEL: 011-821-0173 FAX: 011-823-6370
HP: <https://hs.hus.ac.jp>

企画編集・発行: 北海道科学大学高等学校 後援会

+Professional

ヒューマニティ、コミュニケーション能力、問題発見・課題解決能力、マネジメント能力といった基盤能力を基に、専門性を身につけた人材を育成します。

すべての設置校に共通する、わたしたちのスローガンです。

黙北海道科学大学
北海道科学大学
北海道自動車学校
北海道科学大学附属薬局

北海道科学大学高等学校
+Professional

対面イベント再開。

ひとつでも多くの思い出を、みんなと

NEWEST

塚田 泰成 先生

地理・世界史担当

教員歴

22年!

北科大高 教員紹介

私たちが教

えています!

教員歴

2年目!

土居 静待 先生

生物担当

座右の銘

有言実行

Q 趣味・特技を教えてください。

アウトドア全般、バイク、カメラ、コーヒー

Q 先生のふるさと自慢は?

札幌市は自然と都市がちょうど良いバランスで、うまいものがたくさんある!

Q 高校時代のエピソードを教えてください。

約束もしていないのに、毎日、自分の家に友人が集まっていた

Q 無人島にひとつだけ持っていきなら?

浄水機能付きペットボトル(水の確保)

Q 北科大高の教員になった感想を教えてください。

皆さんは気づいていないと思いますが、皆さんが望めば色々な可能性に対応できる環境が整っていると思います

Q 先生の授業のセールスポイントを教えてください!

難しいことを優しく伝える

先生からのメッセージ

ちょっと転んでも、かすり傷で済むことが分かれば、転ぶことを恐れなくなります。そうすれば、転ぶことを恐れず、何もしない人よりも、違った景色や結果を手にすることが出来ます。失敗を恐れず臆病にならずチャレンジを! 欲張り/は悪いことじゃない!

座右の銘

迷ったらGO

Q 趣味・特技を教えてください。

アウトドア(キャンプ、スノーボード)

Q 先生のふるさと自慢は?

神奈川県川崎市の出身です。すぐに都会、周りは自然

Q 小さな頃にやりたかったもの。

スポーツ選手(少年野球をやっていました!)

Q 高校時代のエピソードを教えてください。

1日17時間勉強×3日間やって、倒れました

Q 無人島にひとつだけ持っていきなら?

夫

Q 休日はどんなふうに過ごしてる?

自宅のDIYをしています! キッチン棚を作ったので、次はキャットウォークを作りたい

先生からのメッセージ

可能性は無限大! 何事にも諦めずにチャレンジしてほしい。

先生の学生時代

去年までは小学校の教員をしていた土居先生。高校教員になりたい!という夢を叶えるために、この春、北科大高に着任しました。授業のモットーは、楽しく、分かりやすく!

スクールカウンセラー・冨家 直明の 誌上相談室

今回のテーマ 胡蝶の夢

中国の古典『莊子』の一説に、「胡蝶の夢」というエピソードがあります。周なる人物が、夢を見ていた。蝶になってお花畑をヒラヒラと舞い、楽しくさんざん遊んだという夢でした。目が覚めて、ふと我に返ったところで考え込みました。果たして、現実の生活が夢なのか、さっきまで見ていた胡蝶の世界こそが現実なのか。周の夢に胡蝶と成るか、胡蝶の夢に周と成るか、どちらなのかと。

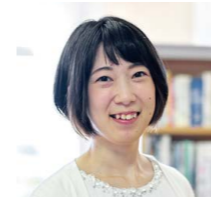
かなり前の話ですが、この周さんのエピソードを彷彿とさせる出来事がありました。当時、高校生だった彼は、突然の事故で家族を失って1人になってしまい、中退して遠くの親戚の家に行きました。それはあつという間のことで、言葉を交わせな

ま、急な別れになりました。これでもう永遠に途切れてしまったと思いましたが、それから5年ほどして私が教えていた某大学に偶然入学してきたのです。廊下でバッタリ再会したときはお互いに驚きました。学食でアイスコーヒーを飲みながら話は尽きず、氷が溶けたわずかな水まですりつつ、おしゃべりに夢中になりました。あれからの5年間は、長いようで短く、短いようで長かった。ずっと夢をみていたような気もするし、確かな現実でもあったのだと。でも今は理学療法士を目指していると言っていました。きれいな彼女もできたそうです。玄関で手を振り合いながら別れて、振り返るともう彼の姿はありませんでした。私の夢だったのでしょうか。

悩みには大小さまざまなものがあります。中には想像を超える大きな災難もあり、問題解決療法やアンガーマネジメント法が何の役にも立たない苦しみもあるでしょう。ひとりのカウンセラーとしてあなたを支えたいと決意していますが、まるで歯が立たないような急流に飲み込まれたとき、私はこの『莊子』を無性に読みたくなります。

図書室から。

西川のワタシの一行



事務室 西川 小織さん

戦争は女の顔をしていない

作画:小梅 けいと 原作:スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 監修:速水 螺旋人 出版社:KADOKAWA

第二次世界大戦下、ソ連軍。その一端を担う兵士や看護師の中には100万人とも言われる多数の従軍女性がいました。自らの戦争体験をひた隠しながら生きてきた彼女たちが語る本当の戦争とは…。

原作は2015年にノーベル文学賞を受賞した作家スヴェトラナ・アレクシエーヴィチの代表作。500名以上にものぼる当時の従軍女性に聞き取りを行い、そこで語られた真実を綴ったルポルタージュです。

著者の視線や主観を挟まずに淡々と語られる内容のリアリティはそのまま、軽やかで柔らかい絵でどの世代の方でも手に取りやすく、入門にもおすすめです。戦火の中、市民ではなく兵士として何を思い、どのような生活を送っていたのか。ぜひ彼女たちの声に耳を傾けてみてください。

奇しくも原作者はウクライナ出身で、ロシアの軍事侵攻を現在進行形で受けています。現代においてもなくならない戦争を目の当たりにし、今一度、注目したい作品です。

私ができる せめてもの ことでした



ありがとう中の島キャンパス 花火で盛大にフィナーレ!

第63回 学校祭を開催

2022年7月8日(金)・9日(土)の2日間、学校祭を開催しました。今年度はクラス対抗で、ステージ発表、動画コンテスト、学級旗の制作を行いました。8日(金)午前中に1年生の部、午後には2年生の部、9日(土)午後には3年生の部と、学年ごとに時間帯を分けてパフォーマンスを発表。その後、9日(土)の夕方からは久しぶりに全学年が体育館に集まり、各種目の成績発表を行いました。来春、手稲前田への校舎移転に伴い、中の島キャンパスでの学校祭は今年で最後。校舎への感謝を込めて、盛大な花火鑑賞会で今年の学校祭を締めくくりました。

文化委員長 の牧野 通斗さん
(進学コース2年)に聞きました!



「昨年はコロナ禍のため、完全に学年ごとに時間帯を区切って実施しましたが、今年は「他の学年の発表を見たい!」という生徒の声が多く、YouTubeでライブ配信を行いました。全学年の生徒がiPadを持っているので、視聴環境が整っていたことや、Googleフォームを使って投票できたのも良かったと思います。中の島での最後の学校祭になるので、思い出に残ることをしたく「花火の打ち上げ」を先生方に相談したところ現実に行うことができ、本当に感謝しています。生徒のみんなはもちろん、学校周辺の地域の方にも喜んでいただけたことが嬉しかったです。」

生徒会補佐 の米原 凜さん
(進学コース1年)に聞きました!



「学校祭の運営に初めて参加しましたが、中学の頃とは全く違い、機材も本格的で驚くことばかりでした。準備の時間が少なく、当日までバタバタしていて大変な面もありましたが、その反面、終わった後の達成感はとても大きかったです。花火の鑑賞会は友達も感激したようで、自宅に帰ってから「おかげで楽しい学校祭だったよ!」と連絡をもらったのが嬉しかったです。前田キャンパスでは、高校の学校祭らしく模擬店などをやってみようと思っています!」

函館&ルスツを巡る

「宿泊バス旅行」 開催!!

2022年7月14日(木)・15日(金)の1泊2日で、3年生の希望者を対象に宿泊バス旅行を実施しました。これは、コロナ禍で行けなかった修学旅行の代替行事として企画されました。規模も行き先も変更せざるを得ませんでしたが、今回のバス旅行が高校で初めての団体宿泊となった皆さんからは「縮小しても、実施されたことが嬉しい」という声があがりました。参加した進学コースの3年生に感想を聞きました。

函館サイコー!

1年生の頃の宿泊研修もなく、修学旅行も3度ほど中止と延期を繰り返して、コロナ禍で仕方ないので、実施が決まった時は本当に嬉しかったです。函館では金森倉庫や日本最古の電柱を見たり、坂本龍馬の像の前でみんなで同じポーズを取ったのも楽しい思い出です。



大室 明日香さん

野村 華麗さん

南 菜瀬さん

齋根 瑠珠さん

夜景に感激!

高校の行事の中でも特に楽しみにしていたのが修学旅行です。行き先は道内になってしまいましたが、移動の時間にみんなの仲が深まったと感じます。初日の夜、函館の夜景を見ました。山頂に向かうロープウェイからの眺めが写真のように綺麗で感激しました! 山頂は霧でしたが、思い出に残る旅行になりました!

濃い2日間!

宿泊バス旅行の実施が決まった時、母からは「学校行事が中止になったり、コロナ禍の影響をすごく受けた世代。1泊2日は短いけど、たくさん思い出を作っておいで!」と声をかけてもらいました。期間は短くても、その分すごく濃い2日間でした。3年間の学校行事の中でイチバンの思い出です!

数百枚の写真!

2日目はルスツリゾートに行きました。友達と行くのは初めてで遊園地のアトラクションが楽しかったです。場内に撮影スポットがたくさんあり、今のクラスの子はもちろん、以前のクラスメートとも写真を撮りあって。数百枚は撮ったかも...! 思い出をたくさん残すことができました。



部活動紹介 CLUB ACTIVITY

主将の
高橋 和志くん
に聞きました!

普通科
進学コース2年
厚別北中学校出身



硬式野球部

新キャプテンになって、みんなに一番伝えたいのが「野球を始めた理由を忘れない」こと。その理由が、野球を上達させる原動力になると思うからです。硬式野球部では、平日の放課後と週末の日中は南区駒岡のグラウンドで全体練習を行い、週末の夕方は室内練習場で課題克服のための自主練の時間を設けています。野球に打ち込める環境があることが有難く、感謝しています。来年、高校3年で最高の思い出を作ります!



▲練習する時も「考えて行動すること」をメンバーに話しているという高橋くん。考えることが試合にもつながっていくのだそう。

弓道部

実は入学前まで射撃部に入ろうと思っていたのですが、弓道部の体験入部で見た先輩たちの姿がとても格好良く、一瞬で心を奪われてしまったのが僕自身の入部のきっかけでした。部員のほとんどが高校から弓道を始めた初心者ですが、顧問の先生、外部コーチ、OBの指導のもと練習に励んでいます。男女ともに仲が良く、和気あいあいとした雰囲気弓道部の魅力。今後の目標はインターハイでの全道優勝です!

部長の
菊地 祐希くん
に聞きました!

普通科
進学コース2年
千歳市立青葉
中学校出身

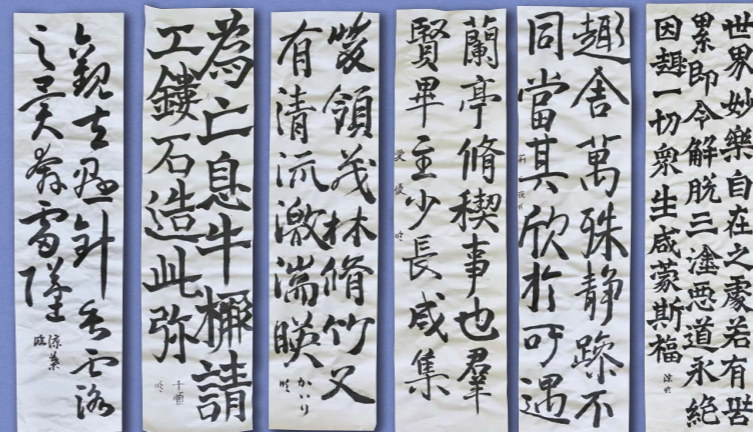


ACTIVO

北科大高生の学校生活を紹介する「ACTIVO」(アクティボ)。部活動から学校行事まで幅広くご紹介!

文化部ギャラリー

書道部



「書譜」
2年 小西涼葉さん

「牛欄造像記」
1年 福澤千順さん

「蘭亭序」
1年 海川いりさん

「蘭亭序」
1年 工藤愛優さん

「蘭亭序」
1年 宮津莉夜さん

「牛欄造像記」
3年 奥野 涼さん

美術同好会



2年 岡田一花さん
「星と月」

2年 品田悠羽さん
「Sublimable」

1年 熊坂若夏さん
「Afternoon Tea」

2年 月居千詠さん
「Don't back to the origin.」

進路指導室から

By 遠藤 正則先生



「合格体験記」からの抜粋

次に紹介するそれぞれのコメントは、先輩から後輩たちに向けた心に響く熱いメッセージです！
気になったメッセージは、全文を「進路のしおり」で読みましょう。

受験は団体戦！

- ◇朝早くに自習室に行き、部活帰りにまた自習室に行く。これを続けたことで「絶対に最後は努力が報われるんだ！」という自信を持つことができました。
- ◇自習室を最大限利用しました。通い続けると周りの人達のペンの音でやる気が出るようになります。
- ◇友達がいなかったら最後まで頑張ることはできなかったと思います。友達に感謝しています。

受験勉強とは

- ◇普段の授業が受験勉強の基礎になります。
- ◇推薦入試は3年間の学校生活全体が受験だと感じました。
- ◇私は高校3年間を通して「価値ある失敗」を学ぶことができました。
- ◇マイナスがプラスに変わって、やってきたことに無駄なことはなかったんだなと思いました。
- ◇大学受験における私のモットーは『モチベーションを高く保つ』『先生をフル活用』です。

面接・小論対策

- ◇面接試験の対策は、過去の先輩の報告書などがあるので、しっかりと自分で情報を集めましょう。
- ◇面接本番は会場にいる人の中で一番練習したという自信を持ち、全く緊張しないで聞かれた質問に対して面接官に自分の魅力を伝えることができました。

その他

- ◇総合的な探究の時間で自分の興味が持てる課題を見つけることができ、自然と進路が決まっていきました。
- ◇受験勉強をされていて初めて気づいたことは、どんな参考書よりも教科書が分かりやすいことです。

■2022年度入試 合格状況

●国公立大学 旭川医大／小樽商科大／北海道教育大／室蘭工大／弘前大／東京学芸大／群馬大／静岡大／札幌医科大／札幌市立大／公立はこだて未来大／公立千歳科学技術大／釧路公立大／青森県立保健大／高崎経済大／北海道職業能率大学校 (過年度生・準大学を含む)

26名

●北海道科学大学 工学部22名／薬学部23名／保健医療学部40名／未来デザイン学部4名

89名

●私立大学

160名

道内 北海学園大／北星学園大／道医療大／日本医療大／藤女子大／天使大／酪農学園大／北翔大ほか

道外 同志社大／明治学院大／東洋大／武蔵野大／国士館大／明星大／愛知工業大／京都産業大ほか

北科大高 移転 NEWS

校舎新築現場レポート 校舎の様子が見え始めています！

2023年4月の高校移転に向けて、現在手稲前田キャンパスで建設が進められている本校の新校舎。外壁を覆っていた幕や足場が徐々に取り除かれ、木々の隙間などから、だんだんと校舎の様子が見えるようになってきました。新校舎は、1階から4階まで吹き抜けでつながっており、開放感のある素敵な空間が広がっています。また、新たな校舎では一足制を採用しており、高校校舎への出入りはもちろん、図書館や食堂、コンビニエンスストアといった大学内の施設を利用する際にも靴の履き替えが必要がなく、キャンパス内の回遊性が向上します。一足制に伴い、下駄箱が必要なくなることから玄関ホールが広く使えるなどのメリットも生まれそうです。



NEWEST
理想の学び場をつくらう。



移転に関するお問い合わせはこちら
北海道科学大学高等学校
移転準備室
TEL: 011-821-0862 FAX: 011-823-6370
MAIL: NEWEST@hus.ac.jp

INFORMATION

北科大掲示板

友人と、地域の皆さんと。3年ぶりに

学生生活が戻ってきました！

長引くコロナ禍の影響で、昨年、一昨年と、多くの大学行事の中止や延期を余儀なくされてきましたが、今年は3年ぶりに学生たちの笑顔がキャンパスに戻ってきました。

4月17日(日)には春の恒例行事「大学周辺ゴミ拾い」が実施され、学生・教職員約280名が参加し、地域の方々と一緒にゴミ拾いを行いました。

6月18日(土)には「第55回体育祭」が実施され、約430名が参加しました。実施競技は、3on3バスケ、バレーボール、ドッチビー、モルック、ソフトボール、e-sportsの6種目。体育館に響く学生の歓声やグラウンドを全力疾走する姿など、久しぶりの大学行事を楽しむ姿が数多く見られました。

7月17日(日)には「第31回いね夏あかり」の実施が予定されていましたが、雨天のためイベントは中止に。しかしながら、大学には手稲区内の子どもたちや地域の方、学生たちが作った約5,800個もの手づくりちょうちんが集まりました。北科大には、学生同士の親交を深めるイベントはもちろん、地域住民の方々とともに実施する恒例行事もあり、地域交流が再開されたことも学内の活気につながっています。



▲第55回体育祭



▲春の恒例行事「大学周辺ゴミ拾い」



▲残念ながら中止となった第31回いね夏あかり

Part.3

新校舎と
新カリキュラムが
合体する時、



高次の学びをつなぎ、自らの未来につなぐ。
HUSリンクス

北海道初の理想の学び場が生まれる!

「HUS LINKS」って何だ?

本校では、高校と大学の双方が持つ教育資源を最大限に活用して、これからの時代が求める「新しい学び方」を高校生に提供する、「高大一体教育」を展開します。

「HUS LINKS」とは ▶▶

高大一体となって本校生に提供する教育プログラムの総称であり、豊富なプログラムを用意しています

1 高大接続プログラム (1~2年生)

北科大を通して大学を知り、大学で求められる学びのあり方を理解する。

知るべきことは、「大学の入り方」だけだろうか? 「大学入学後の学び」こそ!

2 総合的な探究の時間 (1~3年生)

北科大教授陣+道内外の専門家が生徒のオリジナルな学びをサポートする。

本物に触れて初めて、自分がやりたいことが見えてくる!

3 短期海外研修 (学年不問)

ニュージーランド・台湾・カナダで異文化に触れる。

国内の新たな研修先も検討中! 第一候補は喜界島サンゴ礁科学研究所での短期研修!

4 コンカレントプログラム (3年生後期)

全ての生徒が①~③のさまざまなプログラムを通して、試行錯誤しながら自分の進路を選択する。

系列校推薦で北科大への進学を決めた生徒は、一足早い大学生活が始まる!

じっくり時間をかけ多彩な切り口から、何度も失敗しながら挑戦し続ける!